

2018年3月期
(2017年4月1日～2018年3月31日)

決算参考資料

2018年5月11日



東証・名証1部上場 コード:9900
設立:1970年3月
資本金:71億7810万円



目 次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2018年3月期の業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2018年3月期の業績・取り組みについて	—————	P7
6. 2019年3月期の通期業績予想	—————	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は9社であります。

[連結子会社]

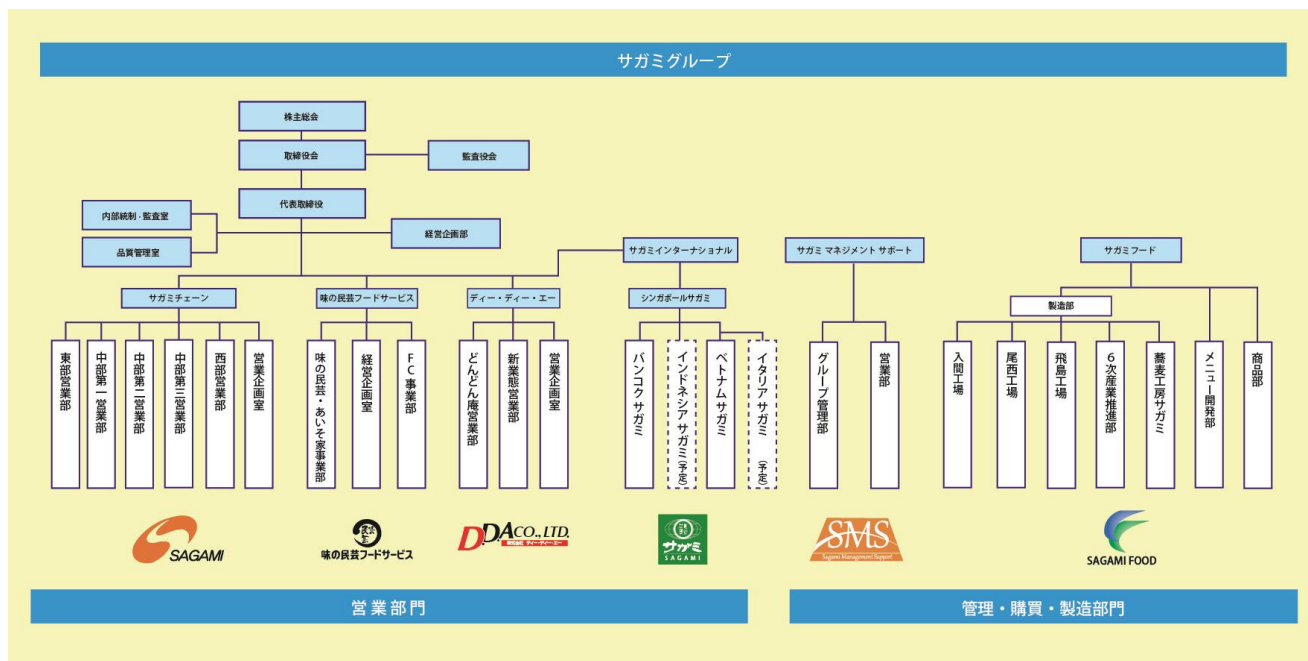
名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100.00%	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務 不動産賃貸業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. (注1)	Singapore	4,350,000米ドル	100.00%	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	投資事業
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100.00%	飲食店の経営

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日
VIETNAM SAGAMI JSC	----2016年01月11日

注1:平成30年3月に700,000米ドルの増資を行い、資本金は4,350,000米ドルとなりました。

○ サガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態、水山業態を経営しております。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・イーは、主にどんどん庵業態、製麺大学業態、かつたに業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行います。

2. 店舗展開の状況

	2017年	2018年			2019年		
	3月期	3月期			3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	131	3	1	133	3	-	136
濱町	2	1	-	3	-	-	3
日本料理 さがみ庭	2	-	1	1	-	-	1
さがみ庭(SC店)	1	-	-	1	-	-	1
サガミ村	1	-	-	1	-	-	1
さがみ青山	1	-	1	0	-	-	0
Dela Pasta Kitchen	1	-	-	1	-	-	1
健やか食堂	1	-	-	1	-	-	1
どんどん庵(FC店舗含む)	35	-	1	34	-	1	33
かつたに	1	-	-	1	2	-	3
製麺大学	4	-	-	4	-	-	4
味の民芸(FC店舗含む)	55	-	-	55	2	-	57
団欒食堂あいそ家	9	-	-	9	-	-	9
水山(FC店舗含む)	4	-	-	4	-	-	4
びんむぎ	1	1	-	2	-	-	2
JINJIN	2	-	-	2	-	-	2
ぶぶか	0	-	-	0	1	-	1
フランチャイジー店舗	2	-	-	2	-	1	1
その他国内店舗	2	-	1	1	-	1	0
海外 上海	2	-	1	1	-	1	0
海外 タイ	2	-	1	1	1	1	1
海外 インドネシア	1	-	-	1	1	1	1
海外 ベトナム	2	-	-	2	-	1	1
海外 イタリア	1	-	1	0	1	-	1
合計	263	5	8	260	11	7	264

*業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

*海外店舗は、業績数値反映期間を2017年1月期～12月期としておりますが、店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2017年4月期～2018年3月期の状況にて記載しております。

○ 業態毎の店舗展開について

<国内>

◆ 和食麵処サガミ業態

2017年10月に「和食麵処サガミ 関マーゴ店」を、
2017年12月に「和食麵処サガミ 岐阜北一色店」を、
2018年 3月に「和食麵処サガミ 豊川牛久保店」を開店いたしました。
これにより、和食麵処サガミ業態の店舗数は、133店舗となりました。

◆ 味の民芸業態

当期間での店舗数の増減はありません。
なお、味の民芸業態の店舗数は、55店舗であります。

◆ どんどん庵業態

2018年1月に「どんどん庵 砂田橋店」を閉店いたしました。
これにより、どんどん庵業態の店舗数は、34店舗となりました。

◆ さがみ庭業態

2017年5月に日本料理業態である「さがみ庭 御器所店」を閉店いたしました。
これによりさがみ庭業態の店舗数は、1店舗となりました。

◆ 水山・びんむぎ業態

2017年9月に「びんむぎ セレオ八王子店」をJR八王子駅ビル「セレオ」9階に開店いたしました。
これにより水山・びんむぎ業態の国内店舗数は、6店舗となりました。

◆ その他業態

2018年2月に「和食麵処サガミ 座間店」を「濱町 座間店」に業態転換いたしました。
また、2017年11月に「さがみ 青山店」を、2018年1月に「陣屋サガミ」を閉店いたしました。

国内業態におきまして、上記以外の店舗数増減はありません。



『和食麵処サガミ 関マーゴ店』



『びんむぎ セレオ八王子店』

<海外>

◆ タイ

2017年9月に、タイの「Silom Complex」に出店していた「SAGAMI」を閉店いたしました。

◆ イタリア

2017年12月に、イタリアに長期実験店舗として出店していた「SAGAMI ミラノ店」を閉店いたしました。

◆ 中国

2018年2月に、「盛賀美 中山公園店」を閉店いたしました。

以上により、2018年3月末のグループ店舗数は、国内255店舗、海外5店舗の計260店舗であります。

*海外店舗は、業績数値反映期間を2017年1月期～12月期としておりますが、
店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2017年4月期～2018年3月期の状況にて記載しております。

3. 2018年3月期業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2017年3月期	当初計画 2017年5月11日発表	2018年3月期	当初計画 差異
売上高	25,937	26,000	26,184	184
営業利益	838	880	883	3
経常利益	885	920	960	40
当期純利益	586	590	597	7
一株あたり 当期純利益	22.19	22.34	22.66	0.32

○ 単体ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2017年3月期	当初計画 2017年5月11日発表	2018年3月期	当初計画 差異
売上高	17,698	17,800	18,120	320
経常利益	987	800	747	△53
当期純利益	480	480	408	△72
一株あたり 当期純利益	18.19	18.17	15.50	△2.67

4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%)	2017年3月期	2018年3月期
総資産	18,512	18,192
純資産	13,813	14,089
自己資本比率	74.6	77.4
一株あたり 純資産	524.17	534.64

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2017年3月期	2018年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	1,400	1,327
投資活動によるキャッシュフロー	△387	△680
財務活動によるキャッシュフロー	△1,035	△795
現金及び現金同等物 期末残高	3,943	3,796

- 設備投資について
連結設備投資は1,001百万円(2017年3月期実績 692百万円)となりました。
- 減価償却費について
減価償却費は522百万円(2017年3月期実績 543百万円)となりました。

5. 2018年3月期の業績・取り組みについて

○ 2018年3月期の業績について

◆ 主力業態「和食麵処サガミ」の業績について

2018年3月期につきましては、うなぎや釜めしなどの季節限定メニューがお客様の評価を受けたことにより、客単価が上昇し売上前年比101.7%と堅調に推移し、客数においては、既存店の客数前年比が99.6%で推移いたしました。

◆ 「味の民芸」の業績について

既存店における売上高が50ヵ月連続(2018年4月末時点)で前年を上回るなど、売上・客数ともに非常に好調に推移しております。

◆ 利益数値について

既存主力業態の売上高が好調に推移し、労働需給の逼迫による人件費の上昇などのコスト上昇要因はあったものの、連結営業利益および経常利益、当期純利益ともに前期を上回ることとなりました。

○ 2018年3月期の主な取り組みについて

◆ 『和食麵処サガミ』の出店再開

2017年10月に岐阜県の商業施設マーゴ・ウエストに、「和食麵処サガミ 関マーゴ店」を出店いたしました。2008年以来、9年ぶりの新規出店であり、そのほか岐阜県岐阜市に1店舗、愛知県豊川市に1店舗の合計3店舗、主力業態である『和食麵処サガミ』を出店いたしました。引き続き、店舗網を拡大しサガミブランドの構築を進めてまいります。

◆ 健康メニューへの取り組み

健康志向の高まりを受け、和食麵処サガミ業態で導入している『減塩なめこそば』『減塩とろろそば』『減塩みそ煮込』の累計販売数が、販売開始以降20万食を突破するとともに、ポリフェノールの一種「ルチン」が普通そばの約100倍含まれている『韃靼(だつたん)そば』においても、累計販売数が、販売開始以降10万5千食を突破いたしました。引き続き、健康価値に優れたメニューの開発・販売に取り組んでまいります。

◆ 東証・名証一部上場20周年企画の実施

2017年7月に当社は、東証・名証一部上場20周年を迎え、その感謝の意を表する企画として「東証・名証一部上場20周年トラベルプレゼントキャンペーン」を実施いたしました。当社が出店しているタイ・ベトナム・インドネシアの3地域へのご招待企画でしたが、多くのお客様からのご応募をいただきました。

◆ 「手羽先サミット2017」でグランプリ受賞

2017年6月9日から3日間、名古屋市中区久屋大通公園で開催された「手羽先サミット2017」にて、サガミの手羽先が最高賞であるグランプリを受賞いたしました。当社の主力一品料理である「なごやめし」の代表格の手羽先は、ブランド力向上に欠かせない商品として位置付けております。

◆ SKE48とのタイアップキャンペーンを実施

2017年12月から3ヵ月間、名古屋を地盤として活動を行っているアイドルグループSKE48とのタイアップ企画として、「手羽先対決」を実施し、新たな顧客層へ向けた訴求を行いました。今後も、時代の流れに合った様々なマーケティング手法を取り入れて参ります。



『満天きらりの韃靼そばと石挽そば』



東証・名証一部上場20周年ロゴ



手羽先サミット2017グランプリ受賞

6. 2019年3月期の業績予想

○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高	26,184	26,500
営業利益	883	700
経常利益	960	740
親会社株主に帰属する 当期純利益	597	440

○ 2019年3月期について

◆ 中期経営計画

各事業の進捗状況や今後の環境を見据え、中期経営計画『ローリングプラン2020』を策定いたしました。「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」の基本戦略に加え、CSV経営を推進し、ビジョン“No.1 Noodle Restaurant Company”の実現に向け、邁進してまいります。

◆ 主力業態の出店加速

本年度は、主力業態である「和食麺処サガミ」業態3店舗、「味の民芸」業態2店舗の出店がすでに確定しております。その他の業態についても出店が確定しており、更なる店舗展開を実施してまいります。

◆ フランチャイズ事業の推進

2018年1月に東京ビッグサイトで行われた、フランチャイズ・ショーにて、手延べうどん業態「水山」、とんかつ専門店「かつたに」を出展いたしました。フランチャイジー募集を本格的に実施し、展開を加速してまいります。

◆ 健康メニューへの取り組み強化

健康的な食事を求めるお客様ニーズは年々増加しており、小売、流通、外食各社においてその取り組みは増加傾向にあります。当社の主力商品であるそば自体も健康価値が高い商品ですが、更にお客様の健康に貢献できるメニュー開発に積極的に取り組んでまいります。

◆ CSV経営の推進

企業と社会の両方に価値を生み出す「共創価値」を向上させるために、本年度は、ESG (Environment, Social, Governance) に取り組みます。環境保全活動の推進、社会貢献活動の継続、ガバナンスの強化を進め、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

◆ 出店重点地域

国内においては、今後も人口の増加が予測されている関東圏および中部圏を、海外においては、経済発展が期待できるASEAN地域を最重要地域と位置付け、展開を進めております。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により当初予想数値と異なる可能性があり、毎年見直してまいります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet: Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャー ポリシーを周知徹底し遵守いたします。